



カンファレンスコール 武田薬品によるARIAD社の買収 ～グローバルなオンコロジーポートフォリオをさらに拡大～

2017年1月10日

クリストフ・ウェバー
社長CEO



重要な注意事項

将来見通しに関する注意事項

本資料には、見積り、予測値、目標値及び計画値等の、当社の将来の事業、財務状態及び経営成績に関する「見通し情報」が含まれています。これらの見通し情報は、「目指す」、「予測する」、「仮定する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「予想する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「見通し」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「試算」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」及びその類義語（これらに係る否定的な表現も含まれます。）等の将来予測に関する用語の使用、又は戦略、計画若しくは意図に関する議論により特定可能な場合があります。

本資料中のあらゆる見通し情報は、現在入手可能な情報から得られた当社の現時点における仮定及び判断に基づいています。かかる見通し情報に関して、当社及び当社の経営陣は将来の業績に係るいかなる保証もするものではなく、また、当該見通し情報には、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要素が含まれています。そのような要素の例としては、日本、米国及び世界全体の一般的な経済情勢を含む当社の事業を取り巻く経済状況、競争圧力及び競争の激化、適用法令、新製品開発計画の成否、規制当局の決定及びそのタイミング、為替相場の変動、製品又は開発品の安全性や有効性に関するクレーム又は懸念、並びに買収対象会社との経営統合等がありますが、これらに限定されるものではなく、またいずれかの要素に起因して、当社の実際の業績や財務状態が、見通し情報により表示又は示唆されている将来の業績や財務状態から大きく乖離する可能性があります。当社及び当社の経営陣は、見通し情報において表示されている予測が現実となることを保証するものではなく、実際の業績は予測と大きく異なる可能性があります。

本資料に含まれる見通し情報は、本資料の日付時点のものに過ぎず、今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社及び当社の経営陣は、本資料に含まれる見通し情報の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

製品情報に関する注意事項

本資料には、当社の製品情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で販売されているものではありませんし、また国によって商標、効能、用量等が異なる場合もあります。また、本資料に記載されている医療用医薬品（開発品を含む）の情報は、そのような製品を宣伝・広告するものではありません。



重要な注意事項

公開買付に関する将来見通しに関する注意事項

本資料には、当社、ARIAD Pharmaceuticals, Inc.(ARIAD社)及び当社によるARIAD社の買収に関する「見通し情報」が含まれており、これら情報は本資料の記述によって表示又は暗示する結果とは大きく異なる実際の結果を生じさせる可能性のある重大なリスク及び不確実性が伴います。本資料における見通し情報には、とりわけ、本買収によって想定されるベネフィット、予想される利益増と成長率、当社とARIAD社の計画・目標・期待・意図、財務状況、当社とARIAD社の事業活動の結果、ARIAD社の製品、ARIAD社のパイプライン製品及び本買収の完了予定時期が含まれます。リスクと不確実性には、とりわけ、次のものが含まれます：本公開買付に何人のARIAD社株主様が応募するかに関する不確実性や本買収がクロージングしない可能性を含め、本買収のクロージング条件が想定期間内に又は全く満足されないことに関するリスク(必要なレギュラトリー上の承認が取得できないリスクを含みます)；本買収により期待されるベネフィットが実現できない又は期待された期間内に実現できないリスクを含め、リスクや本買収による想定されるベネフィットを実現する能力に関するリスク；事業が成功裏に統合されないリスク；本取引により事業と経営関係を維持することがより困難となることから生じる混乱；本アナウンスメント又は本買収の実行による当社普通株式の市場価格及び当社の事業結果に対する否定的な効果；著しい取引費用；不知の債務；本買収に関連する訴訟及び/又はレギュラトリー指令のリスク；業界・市場・政治又はレギュラトリーの状況の影響を含むその他の事業上の影響；将来の為替及び金利；税法、その他の法規則、料率及びポリシーの変更；将来の事業の統合又は処分；競争・償還・経済上のチャレンジが増大する中でARIAD社製品の売上成長率を維持・増大させる能力を含め、研究開発に内在する不確実性；ARIAD社の製品又はパイプラインに関して医薬品に関する申請をいかなる国・地域においていかなる効能について行うか否か又いつ行うか；FDA又はその他の規制当局が上記申請を許可するか否か又いつ許可するか(これらは、提出された有効性と安全性に関する情報の全体が示すベネフィット・リスクの評価にかかっている)；ARIAD社の製品又はパイプラインの市場又はポテンシャルに影響し得るレーベリング及びその他の事項に関するFDA又はその他の規制当局の決定；及び競争状況。

これら事項の多くは当社のコントロールの及ばないものです。適用される法律で要求されない限り、今後、新しい情報・将来の出来事・進展があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる見通し情報の更新を行う意図や義務を負うものではありません。



重要な注意事項

公開買付に関する追加情報

本資料に記載の公開買付はまだ開始されていません。本資料は情報提供の目的のみで開示されるもので、いかなる証券に関する買付の申込みや売却の勧誘を構成するものではありません。本公開買付の開始時において、当社とその100%子会社であるKiku Merger Co., Inc.は、買付申出、譲渡証フォーマットや公開買付に関するその他書類を含め、米国証券取引委員会（SEC）にスケジュールTOに基づき公開買付ステートメントを申請する予定で、ARIAD社は本公開買付に関するスケジュール14D9に基づく意見表明書をSECに申請する予定です。当社、Kiku Merger Co., Inc.及びARIAD社は、ARIAD社の株主様にこれら書類を郵送する予定です。これら書類には本公開買付に関する重要な情報が含まれているので、投資家の皆様及び株主様におかれては、入手された際には、これらの書類を注意深くお読みいただきたい。これら書類はSECのウェブサイト(www.sec.gov)で無料で入手できるかもしれません。本買付申込み及び関連資料は、（入手可能となったときに）本公開買付の情報エージェントとコンタクトいただくことによって無料で入手いただけるかもしれません。



武田薬品によるARIAD社の買収： グローバルなオンコロジー（がん）ポートフォリオをさらに拡大

- 固形がん分野への拡大と血液がん分野のさらなる強化により、グローバルなオンコロジーのポートフォリオおよびパイプラインを変革する戦略的買収
- ARIAD社は、マサチューセッツ州ケンブリッジに本社を置く、標的を絞ったがん治療薬にフォーカスし、上市品も有するバイオテクノロジー企業
- 1株当たり24.00米ドル（企業価値では総額約52億米ドル）で現金により取得
- 実質的なコア・アーニングスの向上に2018年度までに貢献、売上収益は即時および長期に伸長
- Iclusig® (ponatinib) と brigatinib の2つの極めて革新的な薬剤と、早期ステージのパイプライン、コストシナジーがバリュードライバー
- オンコロジー、消化器系疾患領域 (GI)、中枢神経系疾患領域 (CNS) の重点疾患領域への投資戦略に合致



Iclusigは血液がん分野をさらに強化



- グローバルに既発売、持続的で力強い売上伸長に期待
- 2015年売上収益:113百万米ドル
2016年売上収益:170-180百万米ドル(見込)
- 高いアンメットニーズのある患者群を対象とした慢性骨髄性白血病(CML)とフィラデルフィア染色体異常の急性リンパ性白血病(Ph+ ALL)の効能で米国発売中
- より早期の治療ラインでの使用の可能性
- 2016年11月に当初効能についてFDA許可の取得完了

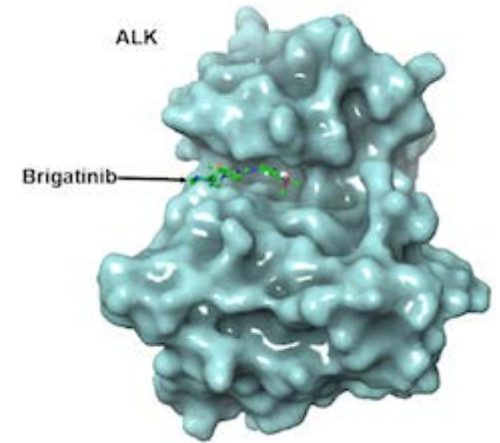
タケダの血液がんフランチャイズが白血病まで拡大

- 骨髄腫とリンパ腫の既存のポートフォリオとの高い相乗効果



brigatinibにより固形がん分野のプレゼンスを拡大

- ALK陽性非小細胞肺癌(NSCLC)に対する第二世代低分子ALK阻害薬
- ベスト・イン・クラスの可能性をもつプロファイル: 耐性変異への幅広い活性、転移性脳腫瘍も見据えたCNS移行性、PFS延長
- FDAによる以下の認定: Breakthrough Designation (2014年10月)
Orphan Drug Status (2016年5月)、Priority Review (2016年10月)
- 米国: セカンドライン効能 PDUFA 2017年4月29日
欧州: 2017年早期に申請予定
- ファーストライン効能取得のため臨床第三相試験実施中:
遺伝的要因によるNSCLCサブグループに対する更なる臨床試験、および効能拡大の可能性
- 年間ピーク売上は10億米ドル超の見込み、知的財産権も磐石



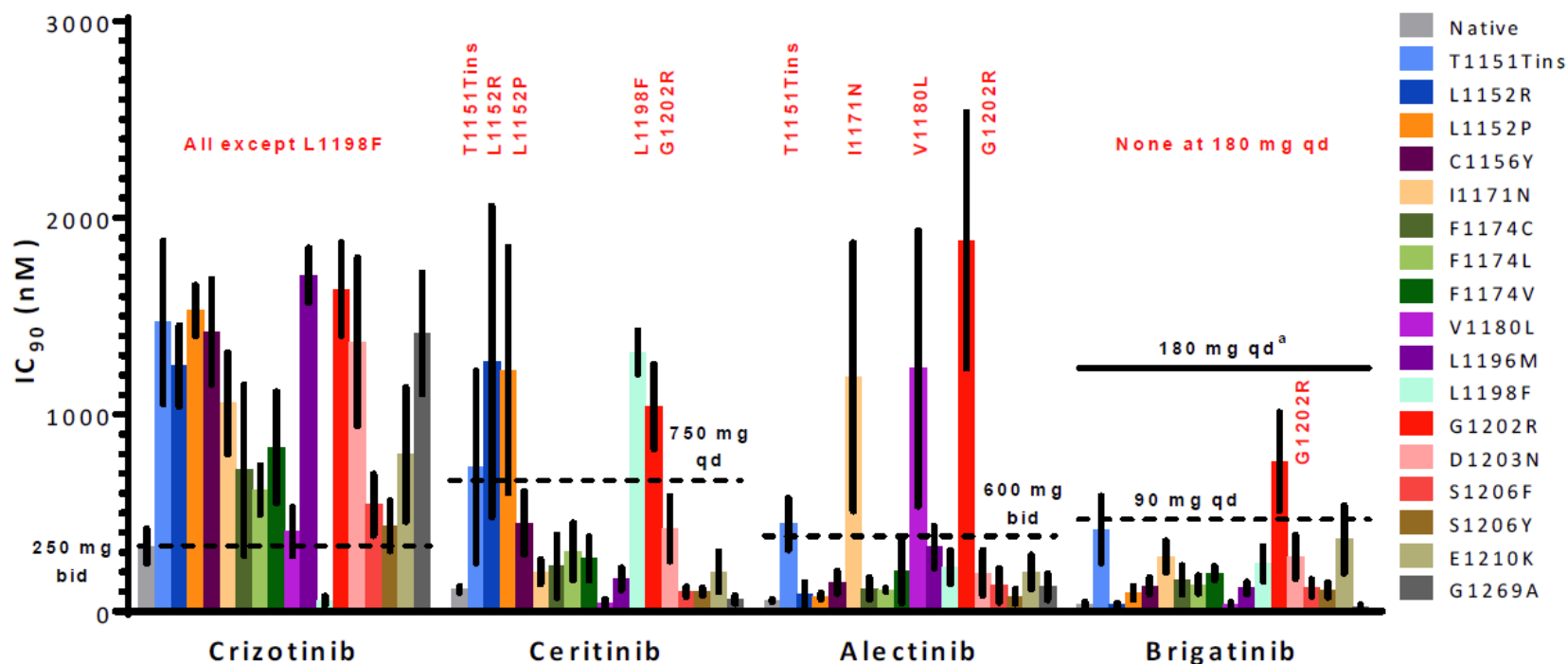
source: www.ariad.com/

タケダの固形がんフランチイズを強化

- 新製品の上市を成功に導く経験と専門性
- タケダの早期ステージにある期待の固形がんパイプラインも貢献



(非臨床データ) Brigatinib exhibits a pan-inhibitory preclinical profile against ALK resistance mutants

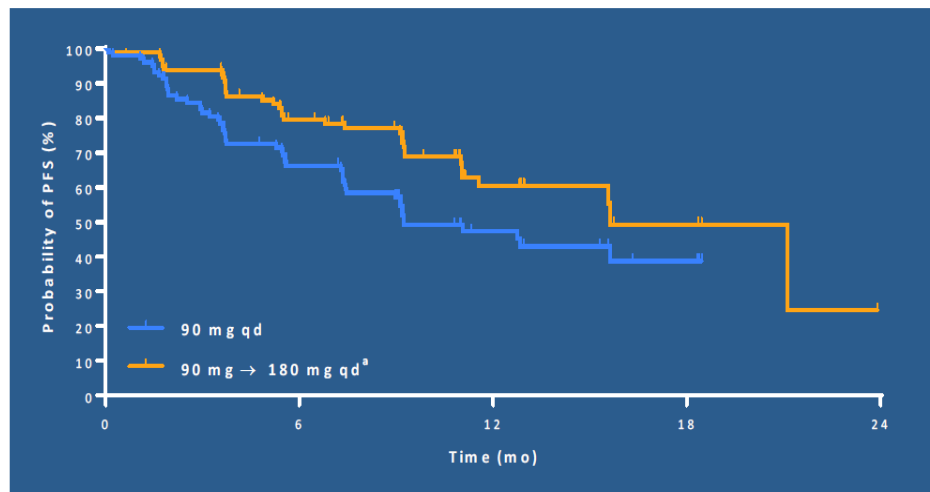


Extracted from Cambridge DR, et al.
World Conference on Lung Cancer 2016



(臨床データ) Brigatinib: Independent Review Committee-assessed PFS by arm

Extracted from Camidge DR et al
World Conference on Lung Cancer 2016



Extracted from Reckamp KL et al
World Conference on Lung Cancer 2016

Indirect comparison of mPFS post-crizotinib across studies*

	Median (m) PFS mos [95% CI]	Source
Ceritinib	6.9 [5.6-8.7] 7.2 [5.4-9.0]	ASCEND-1 ASCEND-2
Alectinib	8.1 [6.2-12.6] 8.9 [5.6-12.8]	NP28761 NP28673
Brigatinib	15.6 [11.6-not reached]	ALTA

*Comparisons across trials may reflect differing patient populations and trial designs; head to head studies are needed to fully understand comparisons between products

	Events/Total (%)	IRC-Assessed Median PFS (95% CI)	Hazard Ratio (95% CI) ^b
90 mg qd	52/112 (46)	9.2 months (7.4-not reached)	0.58 (0.37-0.90)
90 mg → 180 mg qd ^a	34/110 (31)	15.6 months (11.6-not reached)	

^a 180 mg qd with 7-d lead-in at 90 mg

^b Study was not designed to compare treatment arms statistically; however, post hoc comparisons were performed to support dose selection

- > Investigator-assessed median PFS was 8.8 mos (95% CI, 7.4-11.0 mos) at 90 mg and 15.6 mos (95% CI, 11.1 mos-not reached) at 180 mg (with lead-in)

A subset of pulmonary AEs with early onset occurred in six percent of all patients (in 3% of patients, events were grade 3 or higher); no such events occurred after dose escalation to 180 mg qd in Arm B. Most common treatment-emergent AEs, grade 3 or higher, were hypertension, increased CPK, pneumonia and increased lipase.



オンコロジーのパイプライン (2016年度第2四半期現在 + ARIAD社のポートフォリオ)

Phase 1

AP32788
EGFR/HER2 inhibitor
Non-small Cell Lung Cancer

TAK-202
CCR2 antagonist
Solid Tumors

TAK-243
UAE inhibitor
Solid Tumors

TAK-580
Pan-Raf kinase inhibitor
Solid Tumors

TAK-659
SYK/FLT3 kinase inhibitor
Hematologic malignancies,
Solid Tumors

TAK-931
CDC7 inhibitor
Solid Tumors

Phase 2

pevonedistat
NAE inhibitor
High-Risk Myelodysplastic
Syndromes

TAK-117
PI3K α isoform inhibitor
Non-small Cell Lung Cancer

TAK-228
mTORC1/2 inhibitor
Renal Cell Carcinoma
Breast Cancer, Endometrial Cancer

Phase 3 / Filed

brigatinib
ALK inhibitor
Non-small Cell Lung Cancer

LCM

ICLUSIG
BCR-ABL inhibitor
Chronic Myeloid Leukemia
Ph+ Acute Lymphoblastic
Leukemia

ADCETRIS
CD30 ADC
Front Line Hodgkin Lymphoma
Front Line Mantle T-cell Lymphoma
Relapsed cutaneous T-cell
Lymphoma

NINLARO
Proteasome inhibitor
Front Line Multiple Myeloma
Maintenance Multiple Myeloma
post-Stem Cell Transplant
Maintenance Multiple Myeloma
without Stem Cell Transplant
R/R AL Amyloidosis



多大な株主価値をもたらす戦略的買収

- Iclusigの2016年売上見込は170 – 180百万米ドル、brigatinibの年間ピーク売上は10億米ドル超の見込み、知的財産権も磐石
2つの治療薬により長期的に売上収益の大きな増収効果を期待
- 実質的なコア・アーニングスの向上に2018年度までに貢献、2017年度への影響はほぼ中立、brigatinibの発売に伴う販売・マーケティング費用の増加は力強い売上収益の伸長と経費削減のシナジーにより相殺
- ARIAD社の研究開発能力や基盤技術を活用、研究開発費は現行の予算内に収め、一般管理費は2018年度までにシナジーを享受
- 買収資金には、最大40億米ドルの新規負債による資金と手元資金を充当、買収後の負債比率は投資適格の格付け水準を維持する見込み
- 財務の柔軟性を保持し、配当方針に影響なし



買収のスケジュール

公開買付け期間	2017年1月から2017年2月*
本買収の完了	2017年2月末まで**

* 最初の買付け期間は、本件にかかるARIAD社との最終合意の日（米国時間2017年1月8日）から10営業日以内に開始され、開始後20営業日で終了。

** 米国の反トラスト法に基づく所定の法的手続きおよび他の通例のクロージング条件が満たされた後に完了の予定。

Better Health, Brighter Future



武田薬品工業株式会社